

昭和25年3月10日



第26號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

發行所 〇五ノ住千一區立足
 東京都足立區長大山雅二
 足立區編輯
 係書文課總務 〇440
 111
 115
 電 足立 3113



子供達に誓う

昭和十八年四月一日から昭和十九年三月三十一日まで
 の間に生れた子供が今年の入學児童である。

あの頃は誤つた戦争が終末に近すきつあつた。

その時戦争に親を失い家を焼かれ不幸を背負つて生れてきた子供達。

その子供達のために戦災校は全部復舊し新制中學校は全部建築を終えた。

今後は

二部教授をなくすために、學校の施設を充實するため、一生懸命やることを誓ひます。

本年初の

足立区議會定例会開會

昭和二十五年第一回定例區議會は去る二月二十一日開會された審議の案件は次の通りで何れも原案通り可決となつた

一、寄附受領に關する件
左の通り寄附の申し出があつたのでこれを受領することとした

種目 宅地 二二坪
見積金額 二七四、三〇〇圓
寄附者 報徳社代表

二、區有財産處分に關する件
現に使用中の土木課倉庫は建設後長年月を経て、腐蝕甚だしく修理に多額の經費を必要とするもので到底使用に堪えないのでこれを賣却することとした

處分する財産
土地：宅地二三三坪
建物：木造、瓦葺、平屋建七九坪二合五勺
財産の處在
梅島町一九五九番地
處分價格：本區内の東京地方裁判所々屬土地家屋鑑定委員の評價格を最低處分額とする

三、昭和二十四年度東京都

納税ポスター

足立区新制中學受賞者は二名

昨年十二月納税奨励運動の一環として東京都財務局主税部で、全都の新制中學生徒から、納税標語習字及び納税ポスターの募集を行つた際、當足立區からも、習字七十四点、ポスター三一点の応募があつた。規定により區長が厳選の上、習字、ポスター各五点を送付した。この中、習字に秀作一点佳作一点又ポスターで佳作一点の入賞者を出し、足立區新制中學校のため氣を吐いた

入賞者氏名は左の通りである。

標語習字秀作賞
足立第十二中學校三年生 高橋幹雄
同 佳作賞
足立第十四中學校昭和生

区議會日誌

- 二月十日 常任委員會議
議決案
1. 昭和二十四年度教育費追加計上
2. 小學校復興費追加割當について
3. 圖書館設置について
4. 圖書日土委員會議
1. 各児童園井橋修計
2. 西いで
3. 露三三所
4. 十の所競二益提出
- 二月十日 常任委員會議
議決案
1. 昭和二十四年度教育費追加計上
2. 小學校復興費追加割當について
3. 圖書館設置について
4. 圖書日土委員會議
1. 各児童園井橋修計
2. 西いで
3. 露三三所
4. 十の所競二益提出
- 二月十日 常任委員會議
議決案
1. 昭和二十四年度教育費追加計上
2. 小學校復興費追加割當について
3. 圖書館設置について
4. 圖書日土委員會議
1. 各児童園井橋修計
2. 西いで
3. 露三三所
4. 十の所競二益提出



主婦と業者の會

去る二月十九日午後一時、江北小學校で、消費者側として第十三出張所長、森江北婦人連合會長及び各町婦人會長、會員六十名、業者側として食糧配給公園西新井支所長、各配給所主任、調味料及び燃料業者各代表

生活扶助費用の改訂

生活困窮者に福音

本年一月一日から實施された、配給主食の價格改訂及び、年令計算方法の改正に伴つて、生活保護法による生活扶助のため、支出する費用の程度等を、次の通り改訂實施することとなつた

一、主食費の取扱いは、従来の最低生活費認定基準表に示された主食費に、その値上りに伴う増加額を、それぞれ年令毎に、加算する

二、年令區分は満年計

方法による

三、年令の移動に伴う基準額の切替へはつては、主食配給の方法と同じく、移動した月の、その日以後の年令移動に伴う増加額を、日割計算の方法により算出し、翌月分の扶助金支給の際、それに加算して支給する

四、満令の切替へによつて扶助額が従来の、金額よりも、減少する者は、次年令に達する前の日まで従来の額を支給する

本庁の實施は昭和二十五年一月一日からとする

公益質屋が

出來ました

今般、東京都では、一般部

二、休 日 日曜、祭日

業務を開始いたしました

東京都千住公益質屋

足立區千住壽町三四

宇田川建設工事株式會社
取締役 宇田川徳次郎
本社 足立區千住仲町六二
電話足立一三〇九三番
電話足立四一三三番
電話足立二一〇三番
電話足立一八七八番

株式會社 上野製作所
代表者 田中恒三郎
本社 足立區千住三ノ三九
出張所 足立區千住二ノ三
電話足立二七二三八六

共済組合指定
月賦販賣三ヶ月
株式會社 石鍋時計店
足立區千住一ノ六八
電話足立三七〇九番

寫真 寫真は
北千住驛前舊道
石井健祐寫場へ
千住二丁目五二番地

◎遠近に拘らず
出張撮影に應じます

昭和二十四年度 追加更正予算きまる

定例区議會で可決

今回の追加更正予算額は、三〇九圓で、既定予算額一七三、二一一、五五八圓と合計すれば昭和二十四年度予算総額は二〇八、一八七、六六七圓となる。

今回の追加更正予算は、前回の追加更正後必要を生じた経費のうち、財源の見通しが確定的な経費を追加計上したもので、歳入の大部分が都からの交付金補助金である。その歳出面における主なる経費としては、

昭和24年度東京都足立區歳入歳出追加更正予算

内		譯		
科 目	前回の	追加更正	計	円
	累計	額		
區 税	135,293.431	1,235.360	136,528.791	
財 産 收 入	2,380	800.000	802.380	
都 支 出 金	25,277.747	33,225.830	58,503.577	
雑 收 入	2,870.276	285.081	2,585.195	
歳 入 合 計	173,211.558	34,976.109	208,187.667	
歳 出				
會 議 費	9,545.800	50.000	9,595.800	
區 役 所 費	71,197.606	3,528.231	74,725.837	
土 木 費	6,983.844	106.210	7,090.054	
教 育 費	73,097.564	29,958.252	103,055.81	
保 護 事 業 費	1,105.411	396.950	1,502.361	
福 祉 事 業 費	2,257.180	105.920	2,363.100	
産 業 經 濟 費	1,825.608	151.160	1,976.768	
徴 稅 費	3,132.895	32.703	3,165.598	
諸 支 出 金	1,278.137	446.683	1,724.820	
豫 備 費	1,850.000	200.000	2,050.000	
歳 出 合 計	173,211.558	34,976.109	208,187.667	

足立区連合婦人協議會誕生 都内随一の婦人會更に充實

昨年来區内婦人團體の結成はめざましく、現在既に六十七團體の結成完了、本會員數實に二萬三千をこぞえ、都内随一の婦人團體として、他區の範となつて、更に今回各單位團體相互の連絡を密にするため、昨年來懸案であつた足立區連合婦人協議會が慎重審議の結果、ようやく結成され、近々發會式を舉行する運びに至つたことは、本區文化團體の推進力となり、あらゆる分野にわたり婦人の力を發揮し、再建日本のため、貢獻するものと期待される。

役員氏名
 會長 永田梅治 第十出張所
 副會長 石橋フサ 第六出張所
 大道代 第六
 佐藤コマ 第九
 遠藤まつよ 第二

農家の皆さん有難う
 産米供出見事に完納
 都下産米供出割當の約四割を占める本區は、昨年のキテイ台風等の災害にもかかわらず、農民各位の現今食糧事情に對する深い理解と農民に課せられた責任觀の發露から二月二十日三二、五四九俵を見事完納した。

新入學兒童の身体検査 体位智能は一般に向上



本年四月五日、小學校に入学する兒童の身体検査が、二月十九日から、区内各小學校で開始された。検査は、身長、体重、視力、聴力、歯、胸、心臓、肺、腸胃、腎臓、生殖器、皮膚、骨格、神経系、精神状態、知能、言語、動作、協調性、社会性、 etc. 検査の結果、新入學兒童の体位智能は一般に向上している。これは、戦時中の生活環境、衛生面の一般向上、家庭教育の普及、児童の生活リズムの整定、 etc. が原因と見られる。特に、視力検査の結果、近視の児童が増加していることが注目される。これは、長時間の読書やテレビ視聴、 etc. が原因と見られる。したがって、児童の健康増進のため、適切な生活習慣の指導が求められる。

民生事業関係
 常東民生事務所新築経費
 費區營共同作業所民生

六三制整備による四一
 教室新增築経費
 災害による破損校舎の
 復舊経費
 体育振興費給食事業費
 等

民生事業関係
 常東民生事務所新築経費
 費區營共同作業所民生

国民生活が、敗戦直後から、余所の出てきたこと、戦争の意思表示の現われ、戦前の生活リズムの崩壊、 etc. が原因と見られる。したがって、児童の健康増進のため、適切な生活習慣の指導が求められる。

<p>入浴隨意 旅館 菊 泉 千住一ノ七六 北千住驛から三分</p>	<p>御料理 割烹、仕出し 三 登 屋 島 昌 治 千住末廣町五四</p>	<p>大小宴會に是非 御料理 たぬきや 岩 見 染 吉 栗原一、二一二 西新井大師前</p>	<p>大衆會席 宴會、商談には サロン 京 樂 店主 日比野守一郎 都 電 終 点 前 電 足 立 二 三 〇 一 番</p>
---	---	---	--

出張所めぐり

第四出張所



右から
岡田 米一
高橋 文治
瀧澤 ナエ
金杉ふみ子
根本 烈
杉原天留子
川村 廣
石倉 禮子

千住三丁目、氷川神社の境内に、青ペンキに塗られた第四出張所がある、區役所、警察署、北千住驛、消防署の官公廳、更に北千住驛前通り美觀商店街（東京都指定）千住四丁目マーケツト、又都電北千住―水天宮間の終点、及び千住東寶、千住新橋館、の映畫上映館をその所轄區域にもつてゐるこの出張所は、文字通り總てを區役所

と比較され易い点で、區役所の第一線的存在である、管内における民主團體の諸運動も、地域的狭小さにかかわらず、數の多さも、交通の便による連絡の迅速に援けられて、他の地域には見られない、多角的特殊性をもつてゐる、これらの点を、充分考慮して、出張所運営方針を立ててゐるといふ根本所長は、その抱負について次の如く語つた、此處に住む人達は、都會的刺戟を直接に受けてゐるだけであつて、出張所の一舉一動に、實に敏感な反應を示します、良い例として、此處の出張所は、御覽の通り非常に狭い、人口が多いし、家屋が密集してゐる關係で、配給物の検印の時など、一時にどつと受けにくると、忽ち屋外にはみだしてしまふ状態で、晴天の時はまだしも雨天の際などは、こ

そ検印をしてゐるこつちの方が、お氣の毒になつて、少しでも雨の中に立つて順番を待つてゐる時間を少なくするよう、迅速に事務を處理することに努めてますが、人間の能力には、自からなる限界があり、どうしても、區民の方に御迷惑をかけてしまふことがある、このことを一寸、婦人會の役員の方に渡らすと、すぐにそれではという話がおきて、今出張所の地内に、廳舎續きに、屋根附きの廊下形式な張出しを作ることを婦人會と、出張所の間で計畫してゐる、それだけ敏感であるだけに、凡てを區役所に例をとつて出張所を批判する聲もするどく、私達もできる限り、地元各團體の會合には、出席してゐますが、その批判からである、我が町を、我が町の中心である出張所を愛する心に鞭打たれて、職員と共に足らざる所をお互いに反省し合つてゐる、批判されることは、とりも直さず飛躍の素因を作つてくれるのだから、地元の有志にも、その他各團體の人々にも、このことを言つて悪い所を、指摘してくれるように、話してゐます、出張所の方で、親切、丁寧といつても、それは一方的な獨善に陥りやすいこともある、「批判から生

れた反省の累積の結果」が第四出張所のモットーであり運営方針なのでもある



青少年の不良化防止に

元町最高裁判所 婦人會 見學

元町婦人會は豫てから青少年の不良化防止に力を盡してゐるがこれが一層研究の爲二月十四日地元の民生委員小守衛氏の案内で會員一行八十名は最高裁判所と家庭裁判所を見學した、最高裁判所の大きな建物内、部を見學の後、大法廷で服部情報課長から一時間半に亘る講演を聴き、次いで家庭裁判所では、堀内主任判事の案内で家庭裁判所の目的任務の性質を説明され實地見學の後講堂で日野上席少年保護司から「青少年輔導の實際」家庭裁判所長から「子女の育成には子供の眞理を知れ」又堀内判事から「家庭生活の青少年に及ぼす影響について」等實例を擧げての講演を聴き夕刻裁判所専用自動車で歸路に ついた

<p>印章ゴム印 事務用文具 九天堂印房 千住橋戸町四三番地 電話足立二三六六番 千住大橋通り三ツ角</p>	<p>迅速表装、對立 金、銀、屏風 其の他一式請負 御一報次第參上 致します</p> <p>清水表装店 千住高砂町一二二 元三軒家通り土手際</p>	<p>諸印刷と文具 稅務署労働基準署 諸届用紙あります (舊織田印刷所)</p> <p>巧文社印刷所 千住二ノ五 電足三七六七番 北千住驛前美觀商店街通</p>	<p>時計貴・金屬・眼鏡 共済組合指定 島田時計店 島田久太</p>	<p>飲用牛乳の統制撤廢 昭和二十五年二月二十二日 から飲用牛乳は統制撤廢に なり自由販賣となりま</p>
<p>しよそ品質本位 皆様の店 高田酒店 柳原町一五八 柳原神社ソベ</p>	<p>一欄以上何欄でも結構です 長期契約歓迎 二百圓</p>	<p>★廣告料は一回に付一欄</p>	<p>足立區本木町二ノ一八一二 (關屋小學校前通り)</p>	<p>本社 足立區與野町二天 電話足立二八四一</p>